東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携

# 「個性の大地」

第１３号（平成１６年７月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

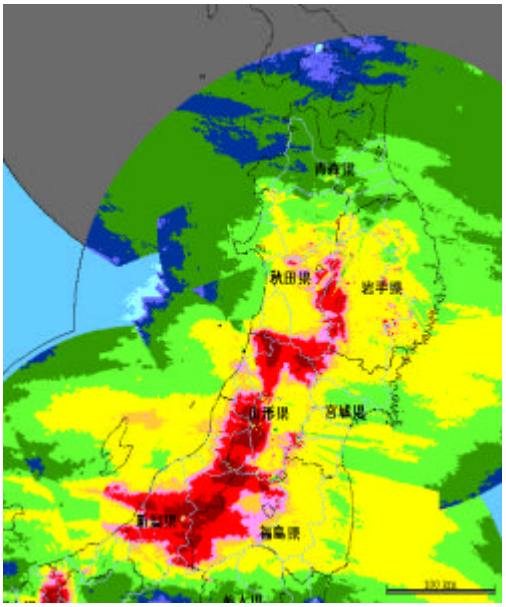
## 平成１６年７月新潟・福島及び福井豪雨における管内災害速報

梅雨前線の停滞により７月１３日から２１日にかけて東北地方南部の日本海側を中心に、大雨になりました。災害の概要は、次のとおりです。（災害速報は、整備局ＨＰもご覧下さい）

被災県においては、情報収集、被災箇所の応急対応等ご苦労様でした。今後、災害復旧等の業務が沢山ありますが的確に進めて頂くとともに、相談案件がありましたら早めに整備局にも情報をお願い致します。

## レーダー雨量（累計雨量）

〔7/12　0時　～　7/21　23時〕




※茶色 500mm 以上、赤 500mm 未満、黄 200mm 未満、黄緑 100mm 未満

## 災　害　状　況

平成１６年７月２９日現在

| | | 秋田県 | 山形県 | 福島県 |
|---|---|---|---|---|
| 人的被害 | 行方不明 | ー | ー | １人 |
| | 軽傷 | ー | 軽傷１人 | ー |
| 住家被害 | 半壊/一部破損 | ー | ２棟 | ー |
| | 床上浸水 | ー | ２０棟 | ６棟 |
| | 床下浸水 | ６棟 | ２４９棟 | ２０棟 |
| 河川関係公共土木施設災 | | ７５箇所 | ５１２箇所 | ４０４箇所 |
| 主な河川被害 | | ー | 越水破堤１ | 堤防欠壊　４ |
| 土砂災害 | | ６箇所 | ３４箇所 | １３箇所 |
| 洪水調節直轄ダム | | １ダム | ３ダム | １ダム |
| 洪水調節補助ダム | | ７ダム | ６ダム | ー |

※公共土木施設災は、県と市町村分のみ掲載

## 主　な　災　害

【山形県】



日向川水系荒瀬川破堤

立川町工藤沢地すべり（小屋破損）

【福島県】



阿賀野川水系田付川欠壊

船引町本町１号がけ崩れ

特　　集

## 中学校整備事業と河川事業の一体的整備　<コスト縮減>

青森県　河川砂防課



○　広域基幹河川改修事業(馬淵川福田工区)[国交省]：馬淵川福田工区は、現川蛇行部のショートカットにより治水安全度の向上を図る計画で、平成 14 年度以降の事業として、約 12.5 万m 3 の掘削、及び約 6.5 ㎞の運搬を伴う残土処理を行う必要がありました。

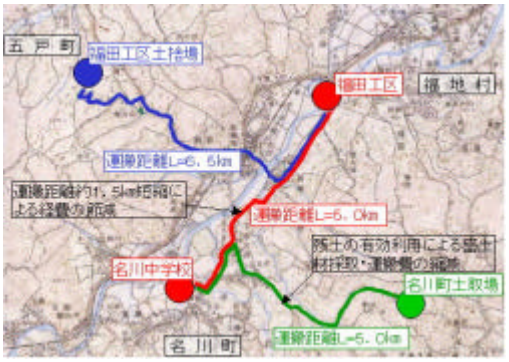


○　義務教育施設整備事業(名川中学校施設整備事業)[総務省]：名川町では、3 つの中学校を統合し、7.3ha の敷地に町民のためのホール、図書館、運動場の機能を備えた複合的な統合中学校（名川中学校）を建設する計画があり、約 12.5 万 m3 の敷地造成を行う必要がありました。

**【２事業の連携の効果】**

福田工区では、残土を中学校の造成工事に有効利用することにより、運搬距離約 1.5 ㎞短縮による経費の節減(約 37,000 千円)、事業完成が 1 年早まり、平成 14 年度内完成が可能となりました。

また、名川町では、約 5 ㎞離れた町有地からの盛土材採取・運搬が不要となり、大幅なコスト縮減（約 170 百万円）が図られ、その予算を関連施設の設計に流用できたことから、関連施設の完成が 1 年早まり、統合中学校の開校と同時に関連施設の供用開始（平成 17 年度予定）が可能となり、地元から大いに喜ばれています。




## 岩手県のダム管理技術研究会<直轄・補助連携人材育成>

岩手県　河川課

岩手県では、ダム管理上の諸問題に関する情報交換、調査研究等を行いダム管理技術の向上に資すると共に、ダムと地域社会との調和を図ることを目的として、県内の国土交通省の直轄ダム、補助ダムのほか、かんがい用ダムや発電ダム等の利水ダムの管理者で構成する、「東北地方ダム管理連絡協議会岩手県部会」が設けられています。

この会の活動として毎年、ダム管理技術研究会を実施しています。平成 15 年 11 月 14 日には国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所の全面的なご協力を頂き、「ダムの管理と点検」をテーマに、御所ダムにおいて研修を行いました。



受講風景



御所ダム操作室で説明を受ける参加者

午前中は北上川ダム統合管理事務所の職員の方から、ダムの安全管理の意義とポイント、観測データの捕らえ方などについて実際の観測データ等を用いて講義を受け、活発な質疑が行われました。また、午後は御所ダムの操作室、ゲート、歩廊を視察しながら点検のポイント等について説明していただきました。

研修の参加者が日頃管理しているダムは、目的も形式も様々ですが、ダム管理の基本的な事項と安全管理について再認識するとともに、具体的な点検のしかたやデータのまとめ方など、参考となるものが多く、非常に有意義な研修とすることができました。

## トピックス

### 東北六県・仙台市からの情報

## 広瀬川市民会議設立【4/23】

**仙台市**



杜の都のシンボルである広瀬川の悠久の流れをまちづくりに活かし，市民行政協働で取り組む活動を自主的主体的に展開することにより，広瀬川の清流を次代に繋ぐネットワーク組織として「広瀬川市民会議」が 4 月 23 日に設立されました。

市民会議は，広瀬川に関わる市民団体 15 団体からなる「広瀬川創生プラン素案づくり実行委員会」が仙台市からの委託により作成し，平成 15 年 6 月，仙台市に提出した「広瀬川創生プラン素案」において設置を提案され，その後，同委員会を母体に同年 9 月に発足した「広瀬川市民会議準備会」が設立に向けた準備を進めてきたものです。

仙台市では，市民協働のパートナーシップのもと，行政・市民・企業等の共通の行動計画として広瀬川創生プランの策定と推進に取り組んでまいります。

## 青森県ふるさとの森と川と海保全創造審議会【5/26】

**青森県**



委嘱状交付式の状況

去る５月２６日の「青森県ふるさとの森と川と海保全創造審議会」委員（１５名）に対する委嘱状交付式が行われました。

これは、平成１３年１２月に全国に先駆けて、青森県内の森林、河川、海岸の豊かな自然を一体的に保全、創造しながら、その優れた自然環境状態を維持して次世代に引き継ぐことを目標に「青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」を制定いたしました。

この条例では、知事が基本方針の策定、保全区域（自然環境が優れた状態を維持している森林、河川、海岸のうち重要と認められる区域）の指定及び保全計画（保全地域における保全に関する計画）の策定に当たって、同審議会の意見を聴くこととしております。

## 福島県砂防協会研修会開催【5/26】

**福島県**

　福島県砂防協会主催により、県内市町村の職員約９０名が参加し福島市で研修会が開催されました。
　講師には磐梯山噴火記念館副館長を招いてハザードマップの必要性についての講話と、福島県砂防グループから土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施や地域防災リーダーの育成について協力依頼がありました。



研修会風景

## 第1回土砂災害危険防止施策検討委員会開催【5/27】

**岩手県**

　土砂災害対策は、施設整備（ハード事業）を中心として進めているが、莫大な経費と時間を要しています。
　こうした状況で、今後、より一層土砂災害対策を効果的推進するためには、厳しい財政状況にあることも踏まえ、既存の施設整備に加えて、住居の移転を促進するなど、新たな方策に取り組む必要があります。
　そのため、地域住　民の意向を十分調査するとともに、第三者や専門家の意見等を踏まえ、施策を充分に検討する必要があると考え、本委員会を設置し、5月27日に第1回委員会を開催しました。
　今後、土砂災害対策を総合的に推進するための方策を検討することとしています。

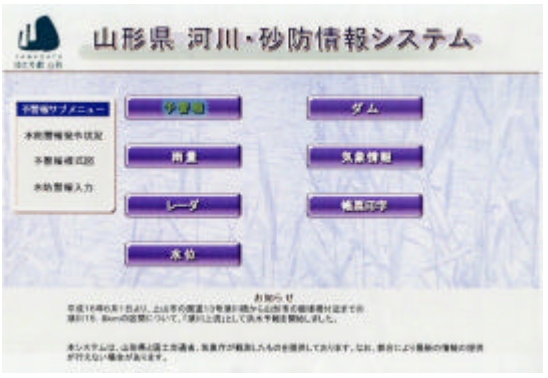



**会議の状況**

## ～山形県で初めて～<br>最上川水系須川上流における洪水予報の開始【6/1】

**山形県**

　上山市の国道１３号須川橋から山形市西部の飯塚橋付近までの 15.8km 区間について、「最上川水系須川上流」として県で初めて洪水予報を６月１日から開始しました。この状況は、山形県河川砂防情報システムにより、水防関係機関に配信されると共に、水位や雨量の情報等は、県民にもインターネットや携帯電話で情報提供されています。
[ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ]http://dww.pref.yamagata.jp/kasen/
[携帯電話]http://dww.pref.yamagata.jp/kasen/h



## 上大沢ダム竣功式開催【6/4】

**宮城県**



背後に栗駒国定公園をひかえる上大沢ダム

温泉の町として全国的に有名な宮城県玉造郡鳴子町の鬼首地区に、上水道確保及び、洪水調節を目的として平成２年から建設を進めてきた「上大沢ダム」の竣功式が平成１６年６月４日開催され、国土交通大臣代理の河川局治水課都市河川室緒方課長補佐をはじめ、国土交通省、宮城県、関係市町村から約８０人が出席し、ダムの竣功を祝いました。

□概要

事業開始：平成２年着工
総事業費：７５億円
型　　式：アースフィルダム
堤　　高：　１９．０m
堤　　長：２２８．５m

## 水と緑の音楽会ｉｎ白神【7/24】

～未来からのあずかりもの　かけがえのないふるさと秋田の水と緑と守りたい～

**秋田県**

秋田県では、昨年度に施行された「水と緑の条例」に基づき、基本計画を策定しました。その基本計画のなかで、県民が本県が有する豊かな自然に対する理解を深めるため、それらを目的とした様々な機会を提供することとしています。

７月２４日には、その一環として「水と緑の音楽会ｉｎ白神」が開催されます。午前に秋田県が誇る白神山地のブナ林を白神ガイドと一緒に約１時間かけて散策し、同時にクリーンアップを行います。また、午後からは、「水と緑」をテーマとした音楽会が白神山地の麓の八森町で開催されます。音楽会では、詩人‘あゆかわのぼる’さんの楽しいお話もあります。

詳しくは、秋田県のホームページ「美の国秋田ネット」の「水と緑のあきた」をご覧下さい。ホームページアドレスは、http://www.pref.akita.jp/forest-p/mizu/index2.htmlです。



世界遺産　白神山地のブナ原生林

## 整備局の動き

### 【連携情報】

### 北海道・東北・関東ブロック補助海岸事業担当者会議【７／１７～１８】

去る７月１７日から１８日にかけて、岩手県久慈市内で本省海岸室中平補佐を招いて、ブロックの担当者による会議を開催しました。会議では、本省から海岸事業を取り巻く話題提供を頂いた後、各県が抱える課題について活発に討議しました。

また、２日目には、野田村　米田海岸の災害復旧現場と種市町　平内海岸の高潮対策、津波防災ステーション現場を視察し、活発な情報交換を行いました。



会議の状況

## 平成１６年度第１回管内河川課長会議を開催【７／１２】

７月１２日に仙台市内で管内河川課長会議を開催しました。

今回の会議では、昨年からのテーマである「河川の適正な維持管理」に関して、整備局で、現在、試行や検討を進めている「堤防健全度調査」や「河道維持管理計画検討」等について話題提供をさせていただき、情報交換しました。

また、多自然型川づくり協議会としての今年度の取り組み予定についての連絡も合わせて行ったところです。

会議の後半では、本省治水課渥美企画専門官をお招きして、「河川行政の最近の話題」と題して話題提供していただくとともに、補助事業制度等についての要望や意見交換を行いました。

今後の会議の中で引き続き管内における堤防等の維持管理レベルや指標のあり方、今後の展開等について議論を深めていくこととなりました。



渥美企画専門官からの話題提供

## 【連絡事項】

**①災害関連緊急事業採択状況【地域河川課】**

４月２５日に宮城県村田町で発見され、現在も１２世帯が避難している平地区地すべりについて、６月１６日災害関連緊急地すべり対策事業が採択されました。〔事業費　４７６百万円〕



**②平成１７年度概算要求のヒアリングを終えての留意事項【地域河川課】**

概算要求のヒアリングが終わりました。各事業担当からヒアリング結果の連絡をしているとおりですが、今後、作業依頼が個別にあると思われますので、的確に準備対応するようにお願い致します。

**③完了検査について【水政課】**

補助事業の完了検査は、補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに附した条件に適合するかについて調査するために行っていますが､今年度も平成１５年度完了事業を対象とし、例年どおり９月から１１月に実施する予定です。今後、日程調整等を行うこととなりますが、効率的な検査が実施できますようご協力の程よろしくお願いします。

**④変更申請の手続きについて【水政課】**

当初事業計画が変更される場合、変更手続が必要となる場合がありますので、重要な変更事項が発生した場合には速やかに手続をとられるようお願いします。

## 編　集　後　記

新構成となって、初めての「個性の大地」を発刊させていただきました。今回、各県等からトピックスを沢山頂きましたが誌面の都合上、割愛させて頂きましたが次号以降での掲載を考えています。今後とも、より多くの情報を掲載するため､さらに構成の見直しや発刊時期の検討を進めて参りたいと考えています。今後とも､「個性の大地」を通じてより連携を強化していきたいと思いますのでよろしく御願いします。地域の話題、新たな取り組み、技術紹介等の情報が有りましたら、当方もしくは、各県の編集員（河川担当課編集員）にお願いします。また、投稿などは随時受付けていますので是非御一報ください。

本誌に関して御意見、問い合わせがございましたら　地域河川課　までお願いします。
発行　　国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号
TEL022-225-2171(大代表)　FAX022-262-6690
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.thr.mlit.go.jp/kasen/